

## 講義レジュメ

内容・テーマ	講師	半田 こそえ
シンポジウム「博物館の可能性をさぐる」	期 日	2013年12月6日
<u>来館者のニーズの多様性と博物館での体験の意義</u>		

### 1. 個々の来館者のニーズとは

- ・ 多様な興味を持って博物館に来る来館者の存在。
- ・ 多様な条件があって来ることが難しい来館者の存在。
- ・ 合理的配慮とは

### 2. 立場によるニーズの捉え方の違い—視覚に障害のある来館者の事例から—

- ・ 顕在化したニーズと潜在的なニーズ
- ・ 視覚に障害のある来館者が求めるニーズ充足のプライオリティ
- ・ 視覚以外の方法による学びと楽しみ

### 3. 来館者の多様なニーズに気づくプロセス—みんなの美術館プロジェクトの事例から—

- ・ 個々の来館者のニーズに徹底的に向き合う。
- ・ 個別のニーズの背後にある共通性に気づく。
- ・ できるところから柔軟に考える。
- ・ 来館者の選択の幅を広げ、潜在的な可能性に繋げる。

### 4. Wish List

- ・ だれもが気兼ねなく足を運べる博物館
- ・ 博物館資料が持っている力を伝えるための創造的な工夫
- ・ 多様性を受け入れる懐の深い社会の実現

---

#### 〔参考文献〕

太田好泰（2012）「障害のある人をはじめ多様な市民と共にミュージアムを真の公共財に変える」『博物館研究』47(9), 13-16.

みんなの美術館プロジェクトURL: <http://www.museumforall.org/>